

<別紙1>

第三者評価結果報告書

① 第三者評価機関名

ナルク神奈川福祉サービス第三者評価事業部

② 施設・事業所情報

名称：認定こども園 山王台幼稚園・風の子こども園		種別：幼保連携型認定こども園	
代表者氏名：田野岡 由紀子		定員（利用人数）：290名（238名）	
所在地：〒232-0074 横浜市南区永田山王台38-38			
TEL：045-713-8866		ホームページ：http://sannoudai.ed.jp	
【施設・事業所の概要】			
開設年月日 2015年4月1日（幼保連携型認定こども園として開設）			
経営法人・設置主体（法人名等）：学校法人 山王台学園			
職員数	常勤職員： 41名	非常勤職員	19名
専門職員	（保育教諭）園長・副園長 3名	看護師	1名
	（保育教諭）主任 1名	管理栄養士	1名
	（保育教諭） 40名	調理員	4名
施設・設備 の概要	（本館）0～2歳児室 3室	（別館）保育室	2室
	3～5歳児室 6室	調理室	1室
	沐浴室 1室	多目的ホール	1室
	事務室 2室	事務室	1室
	職員休憩室 1室	トイレ	2室
	多目的室 1室	（本館設備等） 建物 RC造り 2階建て 建物延床面積 1482.89㎡ 園庭 1724.15㎡	
	会議室 1室		
	和室 1室		
	体育館 1室		
	トイレ 7室	（別館設備等） 建物 RC造り 2階建て 建物延床面積 528.92㎡	
	教材庫・倉庫 4室		

③ 理念・基本方針

【理念（建学の精神）】

「たくましい心と体」

「たかく・あかるく・たくましく夢を育てる幼稚園・こども園」

【基本方針（教育・保育目標）】

- ・自分から進んで取り組もうとする意欲を育てる。
- ・人とかかわる力を身につけ、思いやりの心を育てる。
- ・健康な体を作り・命を大切にできる子に育てる。

④ 施設・事業所の特徴的な取組

【立地および施設の概要】

学校法人山王台学園が運営する認定こども園山王台幼稚園・風の子こども園は、1974年設立の幼稚園教育を行う山王台幼稚園から、保育所の機能・特徴を併せもつ乳児から幼児までの幼保連携型認定こども園として2015年4月に設立されました。2022年1月より園舎改築中で、2023年1月より新園舎で教育・保育が行われています。

京急弘明寺駅から徒歩25分、南区の高台にある山王台山の鉄塔下にある山王台団地の住宅地に立地しています。近くには広い永田みなみ台公園、こどもログハウスがあり、緑豊かな環境にあります。

3号認定の0～2歳児が32名（定員32名）、1号認定の3～5歳児が194名（定員210名）、2号認定の3～5歳児が12名（定員48名）、合計238名（定員290名）が在園し、障がい児保育、延長保育を行っています。

【園の特徴】

一人ひとりの個性を大切に、その子の発達に即した保育と教育を行うことを旨とし、以下の特徴ある教育・保育を展開しています。

1) 広い園庭、体育館を備えて、毎日「体育あそびサーキット」で健康な体とたくましい心を育てる。

2) 果樹の木のある園庭で遊び、付属農園でサツマイモ、ジャガイモ等の収穫体験をし、ウサギや鶏を飼育し、命の大切さを学ぶ。

3) 日本の伝統文化の茶道教育を通して礼儀作法を学び、英語指導を通して国際感覚を身につける。

・地域の幼児教育センターとして、0歳児親子教室、1、2歳児親子教室、2歳児教室を行っています。

・課外教室として、絵画教室、空手道教室、体育教室、英語教室を行っています。

⑤ 第三者評価の受審状況（事務局記載）

評価実施期間	2022年6月24日（契約日）～ 2023年4月8日（評価結果確定日）
受審回数（前回の受審時期）	初回（今回がはじめて）

⑥ 総評

◇特長や今後期待される点

1. 子どもの思いに寄り添い支えあう3歳未満児の保育

3歳児からの幼稚園教育を進めてきた園において、7年前から3歳未満児（0～2歳児）保育を実施しています。0～2歳児の子どもたちとの関わりの中で、職員は一人ひとりの「今」を受け止め、何かをさせるのではなく、子どもの思いを受け止めています。「〇〇がしたかったのね やってみようか」と子どもの気持ちに寄り添い、支え、「できたね よかったね」と1つ1つの場面で子どもの思いを受け止め、励ましています。

子どもの「自分で！」の気持ちを大切に、自立の姿勢を育てています。職員同士で子どもの思いを共有し合い、保護者に伝え、共に支え合う関係を大切にしています。

2. 地域や小中学校との連携

山王台の地域で50年の歩みを重ねてきたこども園では、地域のボランティアの手助けを得て、子どもたちが近くの付属農園でジャガイモやサツマイモを育て、収穫して食する楽しみを味わっています。園庭開放を行い、運動会等の園行事に地域の方を

招待し、正月には地域の獅子舞が来園し子どもたちを喜ばせています。また、選挙の投票所として体育館やホールを提供し、園長が小学校に行き、地域の歴史を話すなど地域コミュニティにも貢献しています。

今年度は小学校から1年生が授業で「学校探検」をした後、その報告を子ども園でやりたいとの要望があり、年長児は先輩の1年生から小学校の話聞く機会を持つことができました。また、中学生が子ども園の「職場体験」に来る前に、副園長が中学校に行き子ども園の話をする機会を持つなど、日常的に地域とのつながり、学校との連携を深めています。

3. 業務の改善や実効性を高めるための組織的な体制づくり

園長は、業務の改善や実効性の向上に向けて、職員が働きやすい職場づくりのために、職員にどのようにしたいかを投げかけ、その意識づくりのための取組をしています。障がい児保育、食育・アレルギー対応、保健衛生、保護者対応、安全対策等の専門グループを組成し、実効性を高めるために、リーダーを発令して活動しています。そのほか、シフト担当や行事計画担当等を定めた具体的な組織体制を構築し、園全体の取組としています。

4. さらなる保育の質の向上に向けた取組

指導計画についてクラスで話し合った内容は、乳児会議（0～2歳児）、キッズ会議（14時以降の3～5歳児の保育で、各学年の副担任が担当）、職員会議（全体）で報告、確認し合い、次の指導計画に生かしています。昨年12月までは乳児棟と幼児棟に分かれ、運営面でも一体化されていませんでしたが、1月から1つの施設の中で共に生活する園となりました。幼保連携型認定こども園教育・保育要領に沿い、0歳児から5歳児までの子どもの育ちを見通した保育の計画が作成され、より豊かな保育実践となることが期待されます。

また、指導計画の評価にあたっては、クラスの担任間で評価・反省し、園長、副園長、主任がチェックをする体制となっていますが、一部評価考察を行える書式になっていません。評価・反省欄を設け、記録に残すことが求められます。

5. 人材育成計画の策定と目標管理制度の導入検討を

質の高い保育を実現するため、職位・経験に応じた役割期待・目標、職務内容（必要な知識・技術）、内部研修・外部研修等、人材の育成に関する方針を明確にした人材育成計画の策定が期待されます。

また、職員一人ひとりの目標項目、目標水準、目標期限を明確にした目標管理制度を導入し、その結果を処遇に反映する仕組みの構築が期待されます。

6. 実施状況の評価ができる中・長期の事業計画と収支計画の策定を

令和4年度から6年度までの3年間の中・長期の事業計画を策定していますが、数値目標や具体的な成果目標が設定されていません。年度ごとの事業計画の実施状況が把握できるよう、数値目標や成果目標を設定した書式内容とすることが望まれます。

また、中・長期の事業計画を実現するための「中・長期の収支計画」を策定することが望まれます。

⑦ 第三者評価結果に対する施設・事業所のコメント

この度の第三者評価において、本園の建学の精神である「たくましい心と体」を育てるための骨子となる、教育理念や教育目標の達成などを評価していただけたことは今後の園の運営において大きな励みとなりました。特に園が目指す、子どもが主体的

な活動ができる保育環境の整備など工夫している点や、安心安全な施設としての運営を評価していただき、日頃より新型コロナウイルスの感染防止に力を入れてきたことや、職員へのマニュアルへの周知、地域への貢献に対しても、高い評価をいただきました。

また、第三者評価をきっかけに職員間で意見を交換することが増え、より良い園の運営のために組織としてさらに何をすべきか見直すことができました。いただきましたご意見は今後の運営に生かしてまいります。

最後になりますが、保護者の皆様におかれましてはご多忙の中、アンケートにご協力いただきありがとうございます。園舎の建て替え工事中という例年とは異なる状況下ではありましたが、本園の教育方針に賛同いただき、大切なお子様をお預けいただきましたこと、あらためて感謝申し上げます。令和5年は、創立50周年の特別な年にあたります。より一層保護者のみなさまのご満足をいただけるよう、職員一同邁進してまいります。

認定こども園 山王台幼稚園・風の子こども園 園長 田野岡由紀子

⑧第三者評価結果

別紙2のとおり